

# アジア太平洋エネルギー協力センター拠出金

令和6年度概算要求額 1.1億円（1.1億円）

資源エネルギー庁長官官房国際課

## 事業の内容

### 事業目的

アジア太平洋地域のエネルギー安全保障及びエネルギー・レジリエンスを強化するため、従来型のエネルギー源である化石燃料エネルギー市場の持続可能性、効率性、予測可能性、透明性を高める取組等を実施することを目的とする。

### 事業概要

アジア太平洋経済協力(以下「APEC」)のエネルギー専門研究機関であるアジア太平洋エネルギー研究センター（以下「APERC」）を通じて、アジア太平洋地域における石油・天然ガスの供給途絶への対応を強化し、エネルギー安全保障及びエネルギー・レジリエンスの強化を図る。

#### （1）石油ガスセキュリティに関する人材育成・緊急時対応訓練

エネルギーの国外依存度が高いAPEC参加国・地域において、石油と天然ガスの供給途絶時対応の検討が必要。APERCにおいて「APEC石油・ガス・セキュリティ・イニシアチブ」の下、石油・天然ガスの途絶シナリオに基づく対応訓練や情報交換を行う。

#### （2）石油ガスセキュリティに関する調査研究

APEC地域におけるエネルギー安全保障に関する調査研究及び政策提言を行う。

## 事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



## 成果目標

令和12年度までに、APECに参加する11の途上国・地域に対してセキュリティ・エクササイズを実施し、エネルギー安全保障の向上を目指す。